

ヨコハマ市民まち普請事業 令和3年度整備施設



緑区中山に地域に開かれた活動拠点「Co-coya（ココヤ）」が完成！

中山駅から徒歩10分の住宅街の一角で、空き家を活用し、コミュニティづくりを進めている拠点「Co-coya（ココヤ）」は、この度ヨコハマ市民まち普請事業を利用し、『Co-coya～「水」と「火」のある地域のほっとステーション～』としてリニューアルしました。

令和4年2月5日より地域に開かれた活動拠点として利用を開始します。

緑区中山で様々なコミュニティづくりの活動をしてきた「Co-coya（ココヤ）復活プロジェクト実行委員会」のメンバーは、古くからの住人と新しく移り住んできた住人とのコミュニケーションが生まれる場をつくりたい、世代を超えた交流を持ちたい、ここに来れば誰かとつながることができる場をつくりたいと考えていました。



▲ 前の通りから見える暖炉の風景



▲ 整備前

▲ 整備後 前の通りから中の様子が分かり、道行く人とのコミュニケーションが生まれるように。

空き家を活用したこれまでの拠点は、中の様子が分かりづらく入りにくい印象でした。そこで、通りに面した間口を、中の様子が分かるように改修し、安心して誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気をつくりたい。古い井戸や薪ストーブを活用して生活に不可欠な「水」と「火」を備えた安心できる場所を提供したいと考え、まち普請に応募しました。コロナ禍でも少しずつつながりを広げ、見事コンテストを通過しました。

整備のポイント ～生活に不可欠な「水」と「火」を活用して安心できる場所に



▲ 井戸

使われなくなった井戸を復活させ、庭や草屋根の散水に利用。



▲ 草屋根



▲ 薪ストーブ

使用する薪は地域や人のつながりで得た処分材を利用。



様々な人と取り組んだ整備の様子 ～環境に優しい自然素材を使って空き家を再生～



改修工事では、解体した土壁から出た土を新たに作る土壁と土間の材料としてリサイクルしています。

「ごみにならない」を改修のテーマに、土を使った自然素材の空間を一緒につくってくれる人を募集しました。

おしゃべり上手な左官屋さんから匠の技の基礎知識を教わりながら作業しました。



建物名の「Co-coya」とは…
 collaboration (コラボレーション・協力)
 cooperative (コーポラティブ・協同)
 coworking (コワーキング・共働)
 が起こる場所であってほしいと願いが込められています。地域のつながりを大事にする場所を目指しています。

■施設の概要

所在地：緑区中山5-9-1
 (建物名：Co-coya (ココヤ))
 JR横浜線・市営地下鉄グリーンライン
 「中山駅」徒歩約10分

■オープニングセレモニー

令和4年2月5日(土) 午前11時～
 ※新型コロナウイルス感染症の対策のため、関係者以外のセレモニーへのご参加をご遠慮いただいております。
 なお、飲食を伴うセレモニーではありません。
 ※取材をご希望の場合は下記アドレスまでご連絡ください。
info@nakayama753.com (担当：関口)



(参考) ヨコハマ市民まち普請事業のご案内

ヨコハマ市民まち普請事業では、地域交流や高齢者の見守り、子育て支援、自然環境の保全、歴史資源の活用、防災・防犯など、市民の皆さまが主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設の整備提案を募集しています。

二段階の公開コンテストにより選考された提案に、50万～500万円までの整備助成金を交付します。【令和3年度2次コンテスト2月6日(日)開催 YouTube 配信!】

【ヨコハマ市民まち普請事業HP】



まち普請

検索

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課 担当課長 萩原 慶一 Tel 045-671-2665